

指導官、俺がならず誰がなる!! 令和7年度部隊格闘指導官養成集合訓練



▲駐屯地中に声が響き渡るハイポート



▲狙いすました蹴り



▲眼光鋭く睨み合い

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は、令和7年10月13日から11月21日までの間、美幌駐屯地及び同訓練場において、令和7年度旅団部隊格闘指導官養成集合訓練を担当した。本訓練は、至近距離戦闘における格闘技術の向上を図るとともに、その技量を検するため、第5旅団の各部隊から選抜された格闘検定特級保有者24名が参加した。訓練内容は、初めの2週間を基礎確立期として、格闘理論及び訓練管理の理解を深め、次の2週間は練成期として、技術運用の理解と向上を図るとともに、指導官に必要な訓練管理能力及び資質を涵養。

最後の2週間で完成期として、格闘の本質を理解させ部隊格闘指導官としての知識と技能の修得を図った。完成期終了には部隊格闘指導官の資格を付与するための認定試験を実施し、その練度を評価・判定した後、最後の訓練として総合訓練を実施した。

第6即応機動連隊は、10月6日から13日までの間、令和7年度秋季然別演習場定期整備に参加するとともに、10月20日から24日までの間、美幌訓練場及び美幌射撃場定期整備を実施した。本整備の目的は演習場等を更に練成しやすい道場にするもので約200名の隊員が参加した。整備開始に先立ち、中津連隊長は「目的意識をもって実施せよ」、「実員指揮能力を向上せよ」、「安全管理を徹底せよ」の3点を要請した。各中隊は与えられた整備担任地域を、各級指揮官による明確な企図・命令・指示のもと、日々の進捗管理を適切に行い、然別演習場整備では弾着区域整備(不発弾捜索・防火帯整備)、各種9コ射場の整備及び道路整備(全長約20km・溜柵等

自らの道場は自ら整備!

令和7年度秋季演習場等定期整備

第6即応機動連隊

33ヶ所)を10月12日までに概成させ、旅団の整備進捗に寄与した。美幌訓練場においては、96式装甲車(WAPC)や16式機動戦闘車(MCV)の走行に支障のある高枝や倒木の伐採、道路脇の除草、溜柵整備、蜂の巣除去等を実施するとともに、将来の新装備の導入を見据えた訓練構想に基づき、その支障となる財産木の調査を行い、来年度以降の整備に向けた準備を推進した。

安全管理として作業開始前には、各中隊が指名した担当者による、その日の整備内容に応じた安全教育を行った。また、作業間においては、安全係による作業規律指導及び周囲への危害予防、警笛による注意喚起を徹底し、安全に整備任務を完遂した。



▲横一列になり不発弾を捜索



▲安全係がしっかり作業を確認



▲蜂の巣も確実に駆除

3年に1度の大規模訓練! 美幌町総合防災訓練参加

第6即応機動連隊本部管理中隊 第5後方支援隊即応機動直接支援中隊

第6即応機動連隊本部管理中隊(中隊長・関勝伸1尉)と第5後方支援隊即応機動直接支援中隊(中隊長・江口国治1尉)は10月4日、美幌小学校グラウンド及び同体育館において、町が主催する令和7年度美幌町総合防災訓練に参加した。

本訓練は、町や防災機関及び町民が一体となって、自然災害に対する防災意識を高めるため実施された。本訓練は3年に1度開催されており、

令和元年度、令和4年度に引き続き3回目となる。訓練はサイレンの吹鳴とともに始まり、避難行動、移動訓練、避難所設置、受入れ、展示訓練、模擬体験及び防災講演会という流れで進行、自衛隊は、炊き出し訓練及び車両展示に参加した。

本部署管理中隊は訓練会場に到着すると、町が用意した食材を用いて手際よくカレーの調理を開始した。調理

中、カレーのスパイスに香りに誘われて、訓練参加者や各協力団体の方々が炊事車周辺に集まったため、炊事車に関する質問に隊員が回答する等対応した。調理終了後、カレーライスの試食会が始まると、参加者からは「避難先でも、こんなに美味しいカレーライスを食べられるんですね!」との声があつた。

また、即応機動直接支援中隊は、故障車両を運搬する重レッカーを車両展示したところ、普段から町内を走る自衛隊の車両を間近で見ることができたため多数の参加者が集まった。本訓練を通じて、本部署管理中隊と即応機動直接支援中隊は災害時における関係部署との連携強化、野外炊事能力の向上、地域住民の自衛隊に対する理解の深化を図ることができた。

第6即応機動連隊第3普通科中隊(中隊長・田中佑也1尉)は10月19日、小清水町において、町が主催する防災拠点型複合庁舎における避難所体験訓練を支援した。本訓練は、防災拠点型複合庁舎に避難所を開設・運営し、自主防災組織、関係機関との連携を確認するとともに、住民の防災意識と自助・共助能力の向上を図る目的で7年ぶりに実施された。小清水町で震度6弱の地震が発生したという想定で実施され、それに伴って発生する災害を想定して地域住民は行動し、町職員は災害対策本部を設置して避難者の受け入れに関する一連の行動を実施した。

第3普通科中隊は車両展示、体験試乗及び300食のカレーの炊き出しの要請を受けた。

本訓練を通じ、第3普通科中隊は災害時における関係部署との連携を強化するとともに、自衛隊の活動への安心感の醸成を図ることができた。

炊き出しに長蛇の列

北見市防災総合訓練

第6即応機動連隊第2普通科中隊

第6即応機動連隊第2普通科中隊(中隊長・柴里拓也1等陸尉)は10月4日、北見市川東常呂川右岸河川敷地において、北見地域救急医療対策協議会及び北見市防災会議が主催する北見市防災総合訓練に参加した。

本訓練の参加機関として、北見市の警察や消防など多数の機関が集まった。

訓練想定は、「北見市に大雨・洪水警報が発表され、局地的に激しい雨が降る状況の中で土砂災害が発生。走行中の大型観光バスと

普通乗用車が土砂に巻き込まれ、多数の負傷者が発生」という状況で実施した。

美幌駐屯地は炊き出しの要請を受け、北見市を担当する第2普通科中隊の隊員が訓練に参加した。

実施日は快晴で訓練開始式の後、各関係機関が救出活動を実施する中、隊員は迅速に炊事所を展開し、手際よくカレー

調理する隊員

炊き出しに長蛇の列

説明をする江口中隊長

カレーライスで命を守れ!
小清水町避難所体験訓練
第6即応機動連隊第3普通科中隊

第3普通科中隊は訓練会場に到着すると炊事車を設置し、町が用意した食材を用いて手際よく炊事を実施した。カレーライスの試食会において、参加者からは「自衛隊のカレーを初めて食べたが、とても美味しい!!」と大好評であり、汗ばむ天候にもかかわらず、2杯目、3杯目と試食する方もいた。

また、96式装輪装甲車(WAPC)の車両展示と体験試乗も好評で、初めて自衛隊の車両を間近で見る参加者や各協力団体の方が押し寄せ、記念撮影の要望や試乗希望者に対して、隊員が丁寧に対応した。

本訓練を通じ、第3普通科中隊は災害時における関係部署との連携を強化するとともに、自衛隊の活動への安心感の醸成を図ることができた。



調理する隊員



炊き出しに長蛇の列



手際よくカレーを調理

北辰新聞の紙媒体での配布は令和8年3月までです。駐屯地HPのブックマークをお願いします。



北部方面総監より褒賞状を授与 山崎敬裕技官

美幌駐屯地業務隊管理科管轄班山崎敬裕技官は老朽化電気設備のLED化等を計画的に実施し約38%の節電効果を得るとともに新改編業務の実施に多大な貢献をした功績で、北部方面優秀隊員として北部方面総監より褒賞状を授与されました。

秀隊員総監招待行事表彰式



▲北部方面総監より褒賞状を授与

優秀隊員総監招待行事表彰式



▲記念撮影

多くの来場者で賑わう!! 網走矯正展支援 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊は、10月19日、網走刑務所内特設会場において網走刑務所主催の網走矯正展を支援した。
本支援はイベントの円滑な運営に寄与するとともに自衛隊に対する理解と親近感の深化を図ることを目的として、重迫撃砲けん引車の装備品展示を実施した。
イベント当日、来場者には多くの観光客も含まれており、普段あまり目

にしない自衛隊の装備品に興味津々で見学や記念撮影する人が途切れることがなかった。
また、イベント関係者からも関心が高く、業務の合間を縫ってやってきて「写真を撮ってもいいですか!」と声をかけられる場面もあった。
本支援を通じて網走矯正展の円滑な運営に寄与するとともに自衛隊に対する理解と親近感の深化を図ることができた。



▲多くの来場者が訪れる

大勢の来場者が記念撮影 網走分屯基地一般開放 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊は10月18日、航空自衛隊網走分屯基地が実施した基地一般開放を支援した。
本支援において、第6即応機動連隊は16式機動戦闘車(MCV)及び96式装輪装甲車(WAPC)の装備品を展示した。
一般開放開始から多くの来場者が訪れ、展示車両に関する多くの質問に対し、隊員が丁寧に対応するとともに、見学者から多くが網走分屯基地から見える絶景を背にMCV

と記念撮影した。
また、第6即応機動連隊の展示車両操縦手2名が網走市のローカルラジオ局「FM網走」の取材を受け、生放送された。



▲ラジオの取材を受ける隊員2名



フレッシュアップ

美幌町役場 町民生活部 町民活動課 町民活動グループ 渡辺 響さん

Table with 2 columns: Personal info (Name, Occupation, Birthplace, Hobbies) and Personality (Character points, Favorite food, Ideal woman, Self-defense, Motto)



美幌町防犯協会副会長にポスターを手交



訓練場に掲示されたポスター

不法投棄は絶対に許さない! 不法投棄防止啓発ポスター貼付式

第121地区警務隊美幌派遣隊

第121地区警務隊美幌派遣隊(隊長・二上深2尉)は10月20日、美幌訓練場北側外柵において不法投棄防止啓発ポスター貼付式に参加した。本行事は、北見方面美幌警察署が主催し、平成27年に発生した大量不法投棄事件を受け、同年10月に美幌高等学校美術部の協力を得て看板を設置したことを始まりとして、令和7年度全国地域安全運動の一環としても実施されており、地域住民の目に触れる場所に啓発ポスターを掲示することにより、不法投棄を未然に防ぐことを目的として、ポスターを制作して、美幌高校美術部山岡准陸尉(12月17日付)が、美幌派遣隊は、今後も警察や学校と連携し、安心・安全な地域づくりに積極的に協力していく。

優美さんは「不法投棄は許さない!」と作品に込めた願いを語った。このポスターは、美幌訓練場北側外柵に設置した掲示板に掲示し、通行者に対して継続的に啓発を行う。

12月 退官者紹介



6即機本部 准陸尉 立代 利昭 (12月17日付)

